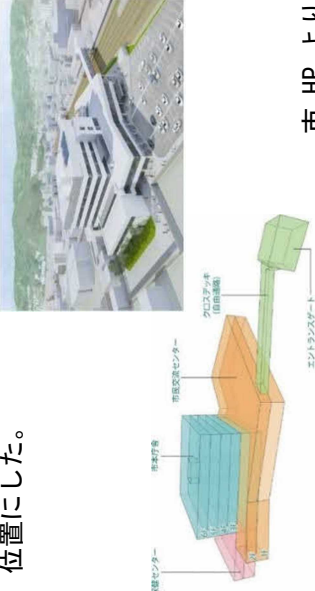
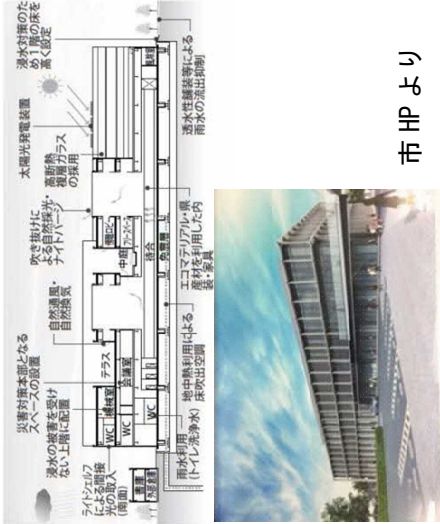


近年の庁舎整備の事例

- ・東日本大震災以降に建設された又は建設予定の庁舎
- ・類似の人口規模である市町の事例，事業手法や計画・設計コンセプトが特徴的な事例を掲載

気仙沼市新庁舎建設基本構想策定に関する有識者会議資料から

	事例1 新潟県新発田市	事例2 福島県須賀川市	事例3 岩手県宮古市	事例4 埼玉県吉川市
自治体面積	533.1 km ²	279.4 km ²	1,259 km ²	31.66 km ²
整備時期	2016 年 11 月竣工	2017 年 5 月開庁	2018 年 7 月完成 2018 年 10 月開庁予定	2018 年 5 月開庁
人口・職員数	計画人口：98,000 人 計画職員：420 人 計画議員数：27 人（H23.12 基本計画時点）	人口：76,125 人 職員：577 人（H27.4） 議員数：23 人（H29.11）	人口：53,290 人 職員：610 人 議員数：22 人	人口：72,677 人 職員：347 人（H26.4） 議員数：20 人
位置（現位置/移転）	移転（地域交流センター駐車場）	現位置（被災後は6年間仮庁舎に分散）	移転（宮古市中心街地拠点施設整備事業）	移転（「おおしす」隣接地）
規模	・敷地面積：5,736.73 m ² ・建築面積：2,841.31 m ² ・延べ床面積：12,995.69 m ² ・階数：地下1階 地上7階 塔屋1階	・敷地面積：23,110 m ² ・建築面積：4,303.42 m ² ・延床面積：17,339 m ² ・階数：地上6階（4階+機械室+展望階）地下1階	・敷地面積：約 15,590 m ² ・建築面積：約 4,843 m ² ・延床面積：約 14,069 m ² （市本庁舎約 8,254 m ² ） ・階数：地上6階	・敷地面積：15,191.07 m ² ・建築面積：2,639.08 m ² ・延床面積：7,505.81 m ² ・階数：地上3階
構造	鉄筋コンクリート造（地下1階～地上3階），鉄骨造（地上4階～7階），中間層免震構造	鉄筋コンクリート，プレキャストコンクリート造		基礎免震構造 混合構造（鉄筋コンクリート造＋鉄骨造）
駐車場	第1駐車場 71 台，第2駐車場 27 台，第3駐車場 137 台（計 235 台）	市役所正面駐車場（115 台），地下駐車場（51 台）	来客用：143 台 公用車用：47 台	既存駐車場の活用
新庁舎建設の理由	老朽化，耐震性不足	震災被害，行政効率の低下	震災被害	老朽化
事業費	総工事費 58 億 2350 万円（44.8 万円/延床m ² ）	89 億 9620 万円（51.9 万円/延床m ² ）	85 億 6,440 万円（60.9 万円/延床m ² ）	—
財源	合併特例債，庁舎建設基金，社会資本整備総合交付金	合併特例債，国の復興交付金，社会資本整備総合交付金，地域環境保全対策費補助金	復興交付金，災害復旧費，地域医療再生臨時特別交付金，合併特例債，震災復興特別交付金，一般財源	—
事業手法	設計者の選定：公募型プロポーザル方式	設計者の選定：公募型プロポーザル方式	公募型プロポーサル	一般競争入札
特徴など	・老朽化した庁舎の移転事業 ・商店街の起点に位置している ・中心市街地とまちづくりの新たな拠点 ・市民イベント等で活用される「札の辻広場」  市 HP より	・ユニバーサルデザインに配慮した設備やサイン計画。音声案内や、磁気ループアンテナの設置。 ・吹き抜け空間を利用した市民ホール。 ・地下水（井水）の利用（熱源設備、雑用水利用）、太陽光発電設備、塔を利用した自然換気システム、床輻射冷暖房・置換空調による居住域空調 ・窓口業務の民間委託（行政管理課新庁舎整備室）  市 HP より	・イーストピアみやこ（宮古中心市街地拠点施設）内に移転。多目的ホール・保健センター併設。 ・JR 宮古駅の南隣。宮古駅とは自由通路「クロスデッキ」で行き来できる。 ・施設1階の床の高さを周辺の地盤より約1m高くし、防災備蓄倉庫と機材倉庫はさらに50cm高い位置にした。  市 HP より	・市民交流センター「おおしす」と連携し、まちづくりの拠点とする。 ・段丘状の三層の低層庁舎とし，周辺建物との高さの調和を図る。 ・環境負荷低減，県産材やエコマテリアルの採用  市 HP より
設計・施行者	設計：aat+ヨコモ・ゾマコト建築設計事務所（建築），Arup Japan（構造・設備）永田音響（音響） 施行：大成・新発田・伊藤 特定共同企業体（市 HP）： http://www.city.shibata.lg.jp/machidukuri/kanzai/chosha/index.html	設計：株式会社 佐藤総合計画 鹿島・日本国土・陸中・久米設計特定共同企業体（宮古市中心市街地拠点施設建設工事・受注者）	設計：株式会社 佐藤総合計画 施行：北野建設(株)埼玉営業所（建築），(株)沼尻電気工事（電気設備），(株)アペックエンジニアリング川口営業所（機械設備） （市 HP） http://www.city.miyako.iwate.jp/index.html	設計：株式会社 佐藤総合計画 施行：北野建設(株)埼玉営業所（建築），(株)沼尻電気工事（電気設備），(株)アペックエンジニアリング川口営業所（機械設備） （市 HP） https://www.city.yoshikawa.saitama.jp/index.cfm/1.html
参考				

近年の庁舎整備の事例

	事例5 秋田県能代市	事例6 青森県五所川原市	事例7 岩手県紫波町	事例8 神奈川県開成町
自治体面積	427 km ²	404.2 km ²	239 km ²	6.56 km ²
整備時期	2017 年 1 月 4 日開庁	2018 年 3 月 20 日完成（5 月 7 日開庁）	2015 年 3 月 31 日完成（2015 年 5 月 7 日開庁）	2017 年 1 月着工 2020 年 3 月竣工（予定）
人口・職員数	人口：53,560 人（世帯数 24,452 世帯） 職員：－ 議員数：－	計画人口：54,988 人（世帯数 25,538 世帯） 計画職員：394 人（基本計画より） 計画議員数：26 人（基本計画より）	計画人口：32,461 人（計画世帯数：10,610 世帯） 計画職員：269 人 計画議員数：22 人	人口：17,013 人（世帯数 6,169 世帯）（H27） 職員：121 人（H29.4.1 現在） 議員数：
位置（現位置/移転）	旧庁舎跡地	移転（西北中央病院跡地ほか）	移転（紫波中央駅前）	現庁舎に隣接（プール解体）
規模	・敷地面積：約 23,700 m ² ・建築面積： ・延床面積：新庁舎 6,969 m ² 第一庁舎 1,736 m ² 駐車場 1,550 m ² ・階数：地上 4 階 地下 1 階	・敷地面積：約 14,250 m ² ・建築面積：約 3,200 m ² ・延床面積：約 9,300 m ² ・階数：地上 3 階、塔屋 1 階	・敷地面積：6,602.77 m ² ・建築面積：庁舎 2,584.05 m ² 車庫棟 221.31 m ² ・延床面積：庁舎 6,650.43 m ² 車庫棟 221.31 m ² ・階数：地上 4 階、地下 1 階（木造部分は地上 3 階）	・敷地面積：8,134.28 m ² （開発敷地面積） ・建築面積：2,135.95 m ² ・延床面積：3,891.31 m ² ・階数：地上 3 階
構造	RC 造、S 造、木造	鉄骨 鉄筋コンクリート	庁舎 木造、一部鉄筋コンクリート造 車庫棟 鉄骨造	RC 造＋一部 S 造
駐車場	－	98 台（障がい者用 4 台）	来庁者用：70 台 公用車用：62 台	来庁者用：35 台
新庁舎建設の理由	－	老朽化、耐震性不足、窓口の散在による利便性の悪さ。	庁舎の分散、老朽化、耐震性	耐震性不足、老朽化、庁舎の分散、ユニバーサルデザイン・情報技術への対応の限界、施設の不足。
事業費	総事業費 48 億 6000 万円（55.8 万円/延床m ² ）	約 58 億円（62.4 万円/延床m ² ）	工事費：21 億 6884 万円（32.6 万円/延床m ² ）	－
財源	合併特例債、庁舎建設基金、国土交通省の補助金（庁舎の防災拠点機能の整備）、環境省の補助金（地中熱利用設備導入）	国庫支出、合併特例債約、一般財源	－	環境省補助金、
事業手法	－	－	P F I（B T O方式）	－
特徴など	・防災機能完備。発電設備や電算室、災害対策本部室などの重要諸室を 3 階以上に配置。 ・旧淳城第二小学校に植えられていた桜の木を活用したさくらの庭等の「市民交流スペース」 ・太陽光発電設備と LED 照明、雨水中水利用システムなどを導入し、省エネと環境負荷の低減を図る。 ・秋田杉をふんだんに活用した庁舎。 	・駐車場は民間（タイムズ 24 株式会社）が運営する有料駐車場。（長期間の無断駐車や迷惑駐車への抑制・防止、夜間・休日の有効活用のため。1 時間 200 円） ・地中熱を冷暖房や駐車場融雪に活用するヒートポンプシステムの導入（二酸化炭素（CO2）排出量の大幅削減を見込む） ・防災機能強化。 ・「市民交流スペース」設置。 	・サービス購入型の事業類型 （民間事業者は、調達した資金により施設を設計・建設し、維持管理及び運営を行う。地方公共団体は、そのサービスの提供に対して対価を支払う。） ・庁舎の構造躯体は 100%町産のカラマツ材を活用「木質資源循環のまちづくり」 ・木造の主要部分は大断面集成材による燃え代（もしろ）設計。耐火性能を確保。 ・閉庁日のエントランスホールの町民開放。（駐車場から広場への動線確保） ・3 階北側に眺望スペースを確保し、町民へ開放。 ・町の中心となる「オガールエリア」との機能的な一体性。 ・保健センター併設。	・ゼロエネルギー（ZEB 認証） ・水に恵まれた開成町の特徴を生かし、井水熱を利用した蓄熱槽やクールヒートレントレチ放射空調等の省エネ空調システムを採用。 ・開成町を象徴する「田舎モダン」な空気を醸し出す「町民プラザ」は地域活力の場。 ・鉄骨造の採用により将来を見越したサステイナブルな空間を計画 
設計・施行者	新庁舎整備事業基本計画（概要版）より 設計：環境デザイン・環設計・ライフ共同企業体	設計：株式会社 佐藤総合計画 東北事務所 工：齋勝・今特定建設工事共同企業体（建築）	PFI 事業：橋建設グループ（代表／橋建設株）	設計・監理：松田平田設計 施工：大成建設
参考	（市 HP） http://www.city.noshiro.akita.jp/	（市 HP） http://www.city.goshogawara.lg.jp/	（町 HP） http://www.town.shiwa.iwate.jp/chosei/shiset/su/1/1662.html	（町 HP） http://www.town.kaisei.kanagawa.jp/forms/info/info.aspx?info_id=9933

近年の庁舎整備の事例

	事例 9 埼玉県新座市	事例 10 福島県伊達郡国見町	事例 11 宮城県亘理町	事例 12 宮城県大崎市
自治体面積	22.78 km ²	37.95 km ²	73.6 km ²	796.8 km ²
整備時期	2017 年 10 月完成 2018 年 1 月開庁	2015 年竣工	2018 年度着工 2019 年度竣工予定	2020 年度発注, 2022 年度末供用開始予定
人口・職員数	人口：164,767 人 (H28 年度) 職員：739 人 (H28 年度) 議員数：26 人	人口：9,512 人 (世帯数 3,291 世帯) 職員：118 人 (2016 年) 議員数：12 人	人口：33,665 人 (2018.7) 計画職員：252 人 (H28 基本構想・基本計画) 計画議員数：18 人 (H28 基本構想・基本計画)	人口：131,185 人 (2018.10) 配置職員数：664 人 (H30.7 プロポーサル実施要領) 議員数：30 人
位置 (現位置/移転)	現位置 (隣接地)	—	移転	北側敷地へ建物配置
規模	・敷地面積：13,951 m ² ・建築面積：2,249 m ² ・延床面積：12,735 m ² ・階数：地下 1 階 地上 5 階	・敷地面積：8,280.40 m ² ・建築面積：1,500.43 m ² ・延床面積：4,833.39 m ² ・階数：地下 1 階 地上 3 階	・敷地面積： ・建築面積： ・延床面積：約 7,040 m ² ・階数：地上 3 階	・敷地面積：約 6,700 m ² (北側敷地) ・建築面積： ・延床面積：約 12,500 m ² ・階数：
構造	基礎免震構造 混合構造 (鉄筋コンクリート造＋鉄骨造)	S 造＋R C 造	—	—
駐車場	来庁者用：101 台 公用車用：30 台	公用車 27 台 (地下 1 階)	来庁舎 103 台, 車いす使用者 3 台, 職員用 240 台, 議員用 18 台, 公用車 65 台	—
新庁舎建設の理由	震災被害 耐震性能の不足や老朽化, 狭あい化	震災被害	震災被害 (解体後仮設庁舎で執務)	施設の老朽化や狭あい, 行政機能の分散化による非効率性
事業費	概算事業費 66 億 6,700 万円 (52.4 万円/延床 m ²)	総事業費 約 17 億円 (35.2 万円/延床 m ²)	総工費 約 42 億 2,000 万円 (59.9 万円/延床 m ²)	概算事業費 61 億 8,000 万円 (49.4 万円/延床 m ²)
財源	地方債, 社会資本整備総合交付金, 庁舎建設改修基金, 一般財源	—	震災復興特別交付税, 庁舎建設基金, 保健福祉センターに対する県の補助金, 起債	合併特例債
事業手法	—	—	設計者の選定：公募型プロポーザル方式	設計者の選定：公募型プロポーザル方式
特徴など	・防災機能完備。 ・屋上に非常用発電設備を設置。発電に必要な燃料は, 3 日分備蓄。 ・高架水槽による給水方式を採用。地下受水槽と合わせて 3 日分の汚水を貯留できる非常用排水槽 ・3 日分の汚水を貯留できる非常用排水槽 ・執務室内 2 か所にエコポイドを設置。自然採光確保と効率的な自然換気。 ・30kW の太陽光発電設備を設置。 ・雨水をトイレの洗浄に利用。 ・低層棟 (平屋建て) を併設。(多目的会議室, 市民オーブンテラス, 観光プラザ, レストランコンビニ, トイレ等)	・第 19 回木材活用コンクール賞【国土交通大臣賞】 ・平成 28 年度木材利用優良施設【林野庁長官賞】 	・保健福祉センター, 防災備蓄倉庫併設。 ・72 時間対応の自家発電室 ・ヘリコプター救助スペース ・吹き出しや支援物資配布のための屋根付きスペース — 河北新報より 	【基本方針】 ①みんなが利用しやすく, 親しみのある庁舎 ②災害に強く, 情報・交流拠点としての庁舎 ③環境へ配慮し, 管理コストを考慮した庁舎 【新庁舎の機能】 ・市民誰もが利用しやすい庁舎 ・市民サービス向上が図られる効率的な庁舎 ・防災拠点としての市民の安全・安心を確保した庁舎 ・まちに調和し市民が誇りを持てる庁舎 ・環境に配慮した庁舎 ・ライフサイクルコストを抑えた庁舎 【その他】 ・路線バスの停留所の配置 ・防災調整池の設置 ・融雪施設の導入検討 (大崎市役所本庁舎建設整備基本計画)
設計・施工者	設計：㈱石本建築事務所 本社 施工：㈱銭高組北関東支店	設計・監理：福島県国見町庁舎建設実施設計共同企業体 (ジェイアール東日本建築設計事務所, 田畑建築設計事務所) 施工：安藤・間・安藤組・佐久間工業特定建設工事共同企業体	設計：(株)三菱地所設計東北支店・(株)楠山設計 JV 施工：三井住友建設㈱東北支店	設計業務委託契約 H30.12 予定
参考	(市 HP) http://www.city.niiza.lg.jp/	(町 HP) http://www.town.kunimi.fukushima.jp/	(町 HP) https://www.town.watari.miyagi.jp/	(市 HP) http://www.city.osaki.miyagi.jp/index.cfm/1.html

近年の庁舎整備の事例

	事例 13 千葉県旭市	事例 14 東京都町田市	事例 15 宮城県南三陸町	事例 17 滋賀県近江八幡市
自治体面積	129. 9km ²	71. 8 km ²	163. 4 km ²	177. 45 m ²
整備時期	2021 年 3 月完成 2021 年春開庁	2012 年 7 月開庁	2017 年 8 月完成	2019 年末完成 2020 年 1 月開庁予定
人口・職員数	人口：66, 472 人 (H29 年 12 月) 職員：人 388 人 (H29 想定) 議員数：20 人	人口：428, 539 人 職員：2, 048 人 (H30 年) 議員数：36 人	人口：13, 022 人 (2018. 10) 職員：144 人 議員数：16 人	人口：82, 223 人 (2018. 1) 職員：581 人 議員数：24 人
位置（現位置/移転）	移転新築（旭文化の森公園の一部）	移転新築	移転	現位置（隣接地）
規模	・敷地面積：9, 864 m ² ・建築面積：4, 200 m ² ・延床面積：13, 700 m ² ・階数：地下 1 階 (S) 地上 5 階	・敷地面積：15, 969 m ² ・建築面積：7, 661 m ² （駐車場 1, 398 m ² ） ・延床面積：41, 510 m ² （駐車場 4, 146 m ² ） ・階数：地下 1 階 地上 10 階（駐車場 地上 3 階）	・敷地面積：8, 730. 1 m ² ： ・建築面積：2, 656. 7 m ² ・延床面積：3, 772. 6 m ² ・階数：地上 3 階	・敷地面積：12, 118 m ² ・建築面積：4, 375 m ² ・延床面積：－ ・階数：地下 1 階 地上 6 階 （低層棟 3 階）
構造	鉄骨造（耐震構造）	鉄骨造，鉄骨鉄筋コンクリート造，鉄筋コンクリート造	鉄筋コンクリート造	鉄筋コンクリート造
駐車場	来庁者用：100 台 公用車用：74 台	195 台（地上 3 階建て）	－	－
新庁舎建設の理由	老朽化，耐震不足	耐震性能不足による災害復旧拠点としての機能不足。狭あい，庁舎の分散。IT 対応への限界	震災被害（解体後仮設庁舎で執務）	未耐震，老朽化，防災機能強化
事業費	総事業費 54 億円（39. 4 万円/延床m ² ）	総事業費約 150 億円（36. 1 万円/延床m ² ）	本庁舎総工費約 19 億 1, 750 万円（50. 8 万円/延床m ² ）	建設事業費約 87 億 7, 000 万円
財源	合併特例債 47 億 5 千万円，庁舎整備基金 6 億 2 百万円	－	－	－
事業手法	設計者の選定：公募型プロポーザル方式	－	設計者の選定：公募型プロポーザル方式	－
特徴など	・旭文化の杜公園との連携し，周囲に圧迫感を与えないデザインで，景観と調和した計画とする。 ・長寿命庁舎を実現する建築技術 ①コストバランスを考慮した合理的な構造計画（柱間を長くとり。設備ルートの合理化。等） ②塩害対策 （室外機等には耐塩仕様を採用。屋外建具類はアルミを採用） ③メンテナンステスしやすい庁舎 （メンテナンスパネルコニー設置。将来の設備増設に対応しゆとりを持たせる。ガラスに光媒体塗料を施し清掃回数を減らす。植栽はメンテナンスが過大にならない樹種を選定。）  市 HP より	・耐震強度を通常の 1. 5 倍で設計。震度 7 程度の大地震でも安心して使用できる構造になっている。 ・太陽光パネル設置。ビルエネルギー監視システム導入。屋上の緑化。  市 HP より	・防災対策拠点となるよう高台に建設。 ・カフェコーナーを設置し，運営はNPO法人（びば!!南三陸）に。特徴として，生きがい対策や社会参画を目的として，従業員が高齢者であること。 ・FSC国際認証を取得した南三陸産の杉を使用。  町 HP より	【基本計画における新庁舎の整備方針】 ①まちづくり：官庁街全体の発展を見据えて柔軟で進化できる庁舎 ②交流：多彩な交流を積極的に促進できる庁舎 ③防災：災害時に市民のよりどころとなる安全で安心な庁舎 ④環境：次世代の規範となる環境先進庁舎 ⑤福祉・教育：福祉・教育機能を充実させ，誰もが使いやすい親しまれる庁舎 ⑥コストバランス：コストが機能・性能とバランスする庁舎 
設計・施工者	設計：（株）横河建築設計事務所	設計：横文彦（横総合計画事務所） 施工：鹿島建設(株)	設計：（株）久米設計東北支社	完成予想図 滋賀報知新聞より 設計：（株）石本建築事務所 大阪支所 施工：（株）奥山組 滋賀営業所
参考	（市 HP） http://www.city.asahi.lg.jp/	（市 HP） https://www.city.machida.tokyo.jp/	（町 HP） https://www.town.minamisanriku.miyagi.jp/	（市 HP） http://www.city.omihachiman.shiga.jp/